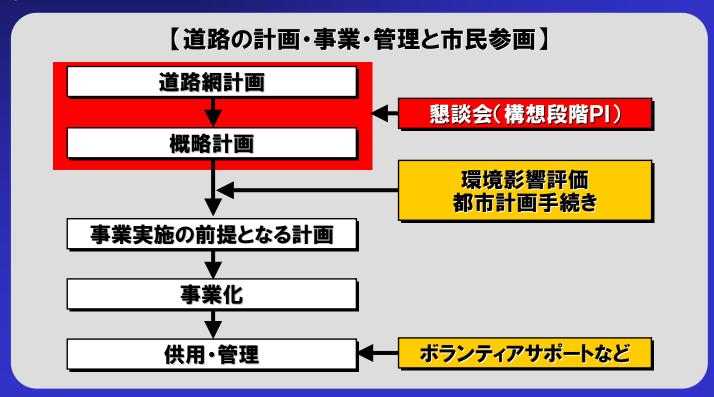
(1)北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」 懇談会の進め方

(1) 道路行政における市民参画(PI※)の取り組み

◆ 目的

- ①計画の早い段階から市民参画の導入を図り、計画決定プロセスの、 透明性・客観性を高め、公正な判断を行うこと。
- ②道路計画に市民等の意見を反映し、より良い計画作りに資すること。



※PIとは・・道路などの公共事業において、計画の初期の段階から、関係する市民の方々などに情報を公開して広く意見を聴き、計画づくりに反映する市民参画手法のこと。

(2)懇談会について

① 懇談会の目的

◆ 学識者、市民代表、民間団体、行政機関、事業予定者が一体となり、豊岡道路の計画(みちづくり)について、よりよい計画となる様、審議して取りまとめる。

② 懇談会のメンバー構成

学識者	3名	流通科学大学経済情報学科教授	西井 和夫
		兵庫県立大学自然・環境科学研究科教授	中瀬 勲
		兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授	大迫 義人
市民代表	4名		
		日下部 昌男	
		五荘地区区長会長	白谷 光利
		奈佐地区区長会長	竹中 誠男
民間団体	2名	八条地区区長会長	日村 和夫
		豊岡商工会議所会頭	宮垣 和生
行政機関	4名	但馬豊岡観光協議会	西村 肇
		兵庫県但馬県民局 県土整備部 豊岡土木事務所長	前田 強
		豊岡市 都市整備部長	黒坂 勇
		コウノトリ共生部長	太田垣 秀典
		国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所長	細川 雅

③ 懇談会の流れ

第1回 懇談会

『懇談会の進め方について』

『但馬地域の現状と課題について』

『豊岡道路の概要について』

『豊岡道路アンケート結果について』

『豊岡道路に求められる機能及び整備効果の検討』

『計画上のコントロールポイントと配慮事項の抽出』

第2回 懇談会

『第1回懇談会の意見を踏まえた概略ルート(案)を提示して検討』

第3回 懇談会

『豊岡道路計画の配慮事項及び概略ルート(案)をとりまとめる』

4 懇談会での検討内容

	検討内容	アウトプット
	①『懇談会の進め方について』 ②『但馬地域の現状と課題について』 ③『豊岡道路の概要について』 ④『豊岡道路アンケート結果について』 ⑤『豊岡道路に求められる機能及び整備効果の検討』 ⑥『計画上のコントロールポイントと配慮事項の抽出』	
	北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会の進め方について ・懇談会の進め方	→懇談会の目的、検討内容、スケジュールの決定
第1回	豊岡道路アンケート結果について ・豊岡道路アンケート結果の公表(案)	→アンケート調査結果による但馬地域住民意見のとりまとめ ・アンケート調査結果の確認 ・アンケート調査結果の公表(案)
	豊岡道路に求められる機能及び整備効果の検討 ・豊岡道路に求められる機能及び整備効果の検討	→豊岡道路に求められる機能及び整備効果の共通認識化 ・アンケート調査結果を踏まえた豊岡道路に求められる機能の確認 ・アンケート調査結果を踏まえた豊岡道路の整備効果
	コントロールポイント及び配慮事項の抽出 ・コントロールポイント抽出 ・概略ルート(案)策定時の計画上の配慮事項抽出	 →概略ルート(案)策定時のコントロールポイント及び配慮事項の抽出 ・現地調査及びアンケート調査結果を踏まえ、コントロールポイントを抽出 ・アンケート結果を踏まえ、配慮事項を抽出

4 懇談会での検討内容

	検討内容	アウトプット
第2回	『第1回懇談会の意見を踏まえた概略ルート(案)を 提示して検討』 ・第1回懇談会での意見を踏まえ、コントロールポイント及び計画上の配慮事項をもとに概略ルート(案)を提示して検討 ・概略ルート(案)に対する意見の抽出 ・インターチェンジの必要性の検討	 →概略ルート(案)の検討 ・第1回で抽出されたコントロールポイント及び計画上の配慮事項をもとに作成された概略ルート(案)に対する意見抽出 →インターチェンジの目的・必要性を整理 ・概略ルート(案)をもとにICの必要性について検討
第3回	『豊岡道路計画の配慮事項及び概略ルート(案)をとりまとめる』 ・豊岡道路の必要性について ・概略ルート策定時の配慮事項 →コントロールポイントなどの配慮事項 →機能役割に対する配慮事項	→とりまとめとして盛り込むべき内容の決定